

## 認識している機会の詳細

機会の分類		事象例	当社グループの事業活動における機会	時間軸
企業業績に関する機会	製品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然へのポジティブな影響またはネガティブな影響の緩和効果を持つ製品・サービスの開発・拡大</li> <li>・生物多様性の保全と持続可能な利用を促進する新技術の開発・普及</li> <li>・競争優位性の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然関連のリスク・機会の分析や事業戦略策定を支援するコンサルティング機会の増加</li> <li>・新たな投融資機会の増加</li> </ul>	短期 ～ 中期
	市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規市場・新興市場の広がり</li> <li>・消費者の行動変化（持続可能性に配慮した製品・サービスに対する需要の増加）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然関連ビジネス、商品・サービスの開発</li> </ul>	中期 ～ 長期
	資源の効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の低い原材料への変更等の生産プロセスの転換</li> <li>・自然に配慮した原材料の調整制度の広まり</li> <li>・再生素材の活用とリサイクルの広まり</li> <li>・水使用量と消費量の削減</li> <li>・多様な原材料の活用（未利用資源の活用）</li> <li>・汚染防止や廃棄物の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティング機会、ビジネスマッチング機会の増加</li> <li>・新たな投融資機会の増加</li> </ul>	中期 ～ 長期
	資金フローと資金調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然関連のグリーン金融の広まり</li> <li>・公的インセンティブの活用による環境保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな投融資機会の増加</li> </ul>	短期 ～ 中期
	評判	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーの理解促進・関係強化、協働の広まり</li> <li>・ブランドイメージの向上、他社との差別化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然関連リスクへの対応やソリューション開発による評判向上</li> <li>・ネイチャーポジティブへの貢献による評価の向上・企業価値の向上</li> </ul>	中期 ～ 長期
持続可能性のパフォーマンスに関する機会	天然資源の持続可能な使用	(資源の効率性と同じ)	(資源の効率性と同じ)	中期 ～ 長期
	生態系の保護、修復、再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の保全・再生活動</li> <li>・地域におけるグリーンインフラの実装</li> <li>・希少生物の保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティングニーズや投融資機会の増加</li> </ul>	中期 ～ 長期

※ 短期：5年程度、中期：10年程度、長期：30年程度